解答速報

埼玉医科大学（一般前期）

化学

医歯専門予備校 メルリックス学院
MELURIX

1

1	⑤	2	④⑥	3	③	4	⓪	5	④
6	①	7	①③⑤	8	③	9	⓪	10	⑥
11	③	12	⑤	13	⑧				

2

14	④	15	⓪	16	④	17	②	18	⑧
19	①	20	④	21	①	22	③	23	⑥

3

24	④	25	③	26	④	27	⑧	28	⓪
29	③	30	②	31	⑧	32	⑥	33	①

講評

難易度:昨年並　分量:昨年並　一次通過ライン:75%程度(二次正規合格には 85%程度)

1硫黄の単体とその化合物、炭素の単体とその化合物に関する問題

硫黄(同素体、接触法、希硫酸の第二段階電離度を求める)と炭素(一酸化炭素、フラーレンの C=C 数、ダイヤモンドの C−C 結合エネルギーを求める)でした。無機化学分野の知識で答える問題だけではなく、硫酸の電離平衡に関する問題・結合エネルギーを求める問題など理論化学分野の問題も含まれていました。計算が必要な問題をいかに速く解答できたかがポイントとなったでしょう。また、フラーレンにおける二重結合の本数を求める問題には思考力が必要でした。

2気体の計算問題(基本的)

水素と酸素の混合気体の燃焼についての計算問題でした。蒸気圧が絡む定番の問題であり、完答したいところです。

3ペプチドの誘導体(アスパルテーム)の構造決定の問題(やや難しい)

アスパルテーム(N 末端から順に Asp、Phe、メタノールが結合した化合物)の構造決定の問題です。アスパルテーム自体はテキストに取り上げられることの多い物質なので、演習したことがある人には有利だったかもしれません。アスパルテームのことは知らなくても、問題に与えられた情報だけで十分解答できます。とはいえ、情報が多かったので、選択肢を先に見るなどしてできる限り速やかに解答できたかがポイントかと思います。

埼玉前期は化学のみに割ける時間が(単純計算で)45 分しかないため、時間との勝負になります。しかし、計算問題では面倒にならないように数値が工夫されているなど、無駄に時間がかからないようにはなっています。何とか上記の%は確保したいところです。全体として、大問が 3 題、全マーク数が 33 で、難易度は例年どおりだったと思います。試験時間が短めですので、速やかに解ける問題から解き、はまりそうな問題からはいったん離れるなど、試験中の自己管理ができるとよいと感じました。

メルマガ登録(無料)または LINE 公式アカウント友だち登録(無料)で全教科閲覧できます!
メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。

渋谷校	名古屋校	大阪校
0120-142-760	0120-148-959	0120-142-767
受付 9 時～22 時(日曜日のみ 19 時まで)	受付 9 時～22 時(日曜日のみ 19 時まで)	受付 9 時～22 時(日曜日のみ 19 時まで)
東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋市中村区名駅 2-41-20 CK18 名駅前ビル 2F・6F	大阪府吹田市広芝町4－34 江坂第1ビル 3F

医歯専門予備校 メルリックス学院
MELURIX